



近畿大学
鈴木教授
推奨！

平成 29 年(2017 年) 10 月 4 日
総合政策部 地域創生推進課
地域エネルギー室

～イモが地球を救う！～

空中栽培によるサツマイモ収穫祭

が開催されます

■趣旨・目的

サツマイモを活用した芋発電は、湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プランにおけるバイオマス燃料製造プロジェクトに位置付けており、栽培からエネルギー化まで多くの人の関わりが可能であり、農業・福祉・エネルギーをつなぐまちづくりとして期待されています。

こなんイモ・夢づくり協議会では、近畿大学生物理工学部教授 鈴木高広先生が提唱される空中栽培サツマイモを活用したイモ発電に取り組んでいます。

今年は市内の小中学校、福祉施設はじめ約40カ所で空中栽培が行なわれています。

今回、こなんイモ・夢づくり農園において、今年5月に植えた空中栽培によるサツマイモの収穫祭が行われます。

■日時

平成 29 年 11 月 3 日(金・祝) 午前 10 時～正午 (小雨決行)

■場所

こなんイモ・夢づくり農園(湖南省石部東4丁目 30 番地・31 番地)

■内容

- ・サツマイモ収穫
- ・芋発電実験で出来たガスのお披露目
- ・芋スイーツの試食会

■主催

こなんイモ・夢づくり協議会

■協力

近畿大学、湖南省

■問い合わせ

担当課名: 地域創生推進課 地域エネルギー室 担当者名: 池本・山田

(電話) 0748-71-2302 17 時 15 分以降は、0748-72-1290

(FAX) 0748-72-2000 (メール) energy@city.shiga-konan.lg.jp

親子連れなど約 70 名が参加し、良い天気の中サツマイモの収穫が行われました。



昨年の収穫祭の様子

■講師プロフィール

近畿大学 生物理工学部生物工学科 教授 鈴木 高広



学 位：農学博士
専門分野：バイオマスエネルギー、植物工場、化粧品
研究テーマ：植物工場、環境バイオリクターシステム、
太陽光エネルギーの効率的利用システム
出演番組：フジテレビ「ホンマでっか!?TV」
毎日放送「ちちんぷいぷい」
テレビ朝日「モーニングバード」ほか
著 書：鈴木高広（平成26年）『イモが日本を救う！』
WAVE 出版 ほか

■芋エネルギーについて

国内の芋の平均年間収量は 15 MJ/m²ほどです。一方、初夏の快晴の日には、農地に1日で 30 MJ/m²も太陽光が降り注いでいます。つまり、太陽光のエネルギーは大量に余っています。太陽光を無駄なくバイオマスに変換するには、空間的に作物を栽培し受光面積を広げればよいのです。日本にはエネルギー資源がないと思われてきました。しかし、国土には毎年 100 年分のエネルギーが空から降り注いでいます。

芋を国内で空間大量栽培すれば、原子力と化石燃料を全量代替するエネルギーとして有望です。水も耕作放棄地も大量にあります。炭酸ガス排出量の大幅削減と食糧問題の解決にも役立つ、芋エネルギーの研究は実用化に近づいてきました。芋の空間栽培法は、日本の年間消費エネルギー2000万TJを毎年供給することができ、化石燃料の輸入費用年20兆円を国内農家に振り向け、地域産業を活性化する切り札になります。

植え付け後のバイオマス発電実験では、サツマイモのメタンガスの発電で小さな扇風機が回りました



5月の植え付け会にて実施した鈴木先生によるバイオマス発電実験の様子

どなたでも
参加でき
ます！

サツマイモ収穫祭のお知らせ

5月に空中栽培法で植えたサツマイモの収穫を行います。
一緒に収穫体験してみませんか。

育てたイモはスイーツやイモ発電に！

- ・おいしいイモスイーツに！
- ・地産地消のエネルギーに！

日時 11月3日(金・祝) 10時~12時

場所 こなんイモ・夢づくり農園
(湖南省市石部東四丁目30番地先)



●当日プログラム

サツマイモ収穫・芋発電実験実演・芋スイーツ試食会



■イモ発電とは？

- ①サツマイモを発酵させてメタンガスを発生させます
- ②メタンガスで発電機を回し、電気と熱を作ります
- ③作った電気と熱はお風呂など身近なエネルギーとして使います

※写真はイメージです。



こなんイモくん そらイモちゃん

お問い合わせ

こなんイモ・夢づくり協議会

湖南省市石部東一丁目9番26号

電話:0748-76-3792

konan.citizen.energy.project@gmail.com